

姫路城保存活用計画案

目次

第1章 保存活用計画策定の沿革と目的

第1節 計画策定の沿革	1
第2節 計画策定の目的	3
第3節 計画策定にかかる検討組織・経緯	4
第1項 検討組織	
第2項 検討の経緯	
第4節 計画の位置付け	6
第1項 計画の位置付け	
第2項 他計画との関連	
第5節 計画の対象とする区域及び実施	11
第1項 計画の対象とする区域	
第2項 計画の作成者	
第3項 計画の実施	

第2章 姫路城を取り巻く環境

第1節 市勢の概要	13
第2節 自然的環境	14
第1項 地形・地質	
第2項 気候・植生	
第3節 社会的環境	16
第1項 人口	
第2項 財政指標	
第3項 観光	
第4項 交通網と交通結節機能	
第4節 歴史的環境	24
第1項 古代～中世	
第2項 近世	
第3項 近・現代	

第3章 姫路城の概要

第1節 姫路城の概要	29
第1項 姫路城の位置	
第2項 姫路城の歴史	
第3項 姫路城の構造	
第4項 姫路城保存の経緯	

第2節	指定等の経緯	56
第3節	特別史跡の指定状況	57
	第1項 指定告示	
	第2項 指定説明文とその範囲	
第4節	国宝・重要文化財（建造物）の指定状況	63
	第1項 指定告示	
	第2項 指定説明文とその配置	
第5節	管理団体の指定状況	70
第6節	法令等による保護の状況	72
	第1項 文化財保護法	
	第2項 都市計画法、都市公園法	
	第3項 景観法、景観条例、屋外広告物条例	
	第4項 その他の法令	
第7節	特別史跡指定地の状況	76
	第1項 土地所有の状況	
	第2項 土地利用の状況	
	第3項 公有化・施設移転等の経緯	
第8節	姫路城以外の歴史文化遺産	82
	第1項 歴史的建造物等	
	第2項 周知の埋蔵文化財包蔵地	
	第3項 史料	

第4章 姫路城の本質的価値と構成要素

第1節	姫路城の本質的価値	91
	第1項 本質的価値の明示	
	第2項 新たな価値評価の視点の明示	
第2節	姫路城の構成要素	93
	第1項 姫路城の構成要素の分類	
	第2項 諸要素の分類	
	第3項 地区・区域の区分の設定	
	第4項 各区域における諸要素の概要	

第5章 姫路城の現状と課題

第1節	保存管理・活用整備の経緯	133
	第1項 特別史跡姫路城跡整備管理方針等に基づく保存管理・活用整備の状況	
	第2項 特別史跡姫路城跡の事業実施状況	
	第3項 特別史跡全体の課題	
第2節	保存管理の現状と課題	142
	第1項 各区域における諸要素の現状と課題	

第2項	本質的価値を構成する主たる要素の現状と課題	
第3項	姫路城の管理・防災の現状と課題	
第4項	姫路城の植生等の現状と課題	
第5項	姫路城における景観保全の現状と課題	
第6項	調査研究等の現状と課題	
第3節	活用の現状と課題	194
第1項	特別史跡全体の現状と課題	
第2項	公開、情報発信、教育・学習支援等の現状と課題	
第3項	活用に関する諸施設等の現状と課題	
第4節	整備の現状と課題	214
第1項	特別史跡全体の現状と課題	
第2項	内曲輪の現状と課題	
第3項	中曲輪の現状と課題	
第4項	外曲輪及びバッファゾーン等の現状と課題	
第5節	運営・体制の現状と課題	220
第1項	市の組織体制の現状と課題	
第2項	関係団体との連携・協働の現状と課題	
第3項	歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成の現状と課題	

第6章 大綱・基本方針

第1節	大綱	227
第1項	往時の姿の設定	
第2項	地区区分ごとの将来像	
第2節	基本方針	229

第7章 保存管理

第1節	保存管理の方向性	231
第2節	特別史跡等の保存管理	233
第1項	特別史跡等の保護の方針	
第2項	現状変更等	
第3項	現状変更等が認められない行為	
第4項	現状変更等の許可等に関する取扱い	
第5項	特別史跡における現状変更等の取扱方針	
第6項	姫路城の構成要素の保存管理の方針と現状変更等の取扱基準	
第7項	曲輪の保全	
第8項	石垣の保全	
第3節	保存に係る区域の拡大・公有化	246
第1項	特別史跡指定区域の拡大	
第2項	土地の公有化	
第4節	国指定建造物の保存管理	248
第1項	国指定建造物の保護の方針	
第2項	修理計画	

第3項	保護に関する諸手続き	
第5節	管理・防災計画	263
第1項	管理計画	
第2項	防災（防火・防犯）計画	
第3項	防災設備整備計画	
第4項	耐震対策	
第5項	耐風等対策	
第6項	本丸等区域以外の特別史跡における管理・防災計画	
第6節	姫路城の植生等の管理	277
第1項	植生管理	
第2項	外来生物等	
第7節	姫路城の景観保全	280
第1項	基本目標	
第2項	基本方針	
第3項	景観保全の方法	
第8節	調査研究等の推進	283
第1項	歴史史料等調査	
第2項	発掘調査	
第3項	建造物調査	

第8章 活用

第1節	活用の方向性	285
第2節	活用の方法	286
第1項	姫路城の構成要素を適切に公開し、往時の姿を伝える	
第2項	姫路城の本質的価値や歴史的変遷をわかりやすく、広く伝える	
第3項	姫路城の価値や魅力を継承・醸成する取り組みを実施する	
第3節	国指定建造物の公開	293
第1項	計画条件の整理	
第2項	管理運営計画	

第9章 整備

第1節	整備の方向性	299
第1項	往時の姿を体験できる空間整備	
第2項	地区ごとの整備の方向性	
第3項	姫路城の動線の構築と周遊性の向上	
第2節	整備の方法	302
第1項	各地区の整備方法	
第2項	各区域の整備方法	

第10章 運営・体制の整備

第1節	運営・体制の方向性	319
第1項	総合的な保存管理・調査研究・事業推進体制の構築	
第2項	多様な主体が連携・協働する体制の構築	
第3項	歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成	

第2節 運営・体制の整備の方法	320
第1項 総合的な保存管理・調査研究・事業推進体制の構築	
第2項 多様な主体が連携・協働する体制の構築	
第3項 歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成	

第11章 世界遺産

第1節 登録の経緯	325
第1項 世界遺産条約	
第2項 世界遺産への登録	
第2節 資産の価値	328
第1項 世界遺産姫路城の概要	
第2項 顕著な普遍的価値	
第3節 緩衝地帯	334
第1項 緩衝地帯の役割	
第2項 緩衝地帯設定の考え方	
第3項 緩衝地帯保全の方法	
第4節 世界遺産の保全	338
第1項 世界遺産保全の方針	
第2項 遺産影響評価	
第3項 保全状態等に関する定期報告等の概要	
第4項 姫路城の保全状態等に関する定期報告	

第12章 施策の実施計画の策定・実施

第1節 施策の実施計画	341
第2節 中長期に実施すべき計画	342

第13章 経過観察

第1節 経過観察の方向性	345
第2節 経過観察の方法	345

付属資料

・用語解説	349
-------	-----

